

## 1 講習会の目的

政策評価の目的や実施の効果の講習を実施することで、各局の令和元年度実施施策の自己評価に活用するとともに、今後の施策マネジメントの強化を図る

## 2 開催日時 ※各回同一内容

第1回 令和2年2月4日（火曜日）13時30分から16時40分まで

第2回 令和2年2月7日（金曜日）13時30分から16時40分まで

## 3 講師

政策評価分科会専門調査員

株式会社出島プランニング 代表取締役 出島 誠之 氏

## 4 内容

成果志向の意義、指標・目標の設定や自己評価のあり方などに関連する、必要な知識・ノウハウ及び事例紹介等の講義と、モデル事例を活用したグループワーク形式による実践的演習

<第1部> 13:30～14:20

問題解決の基本プロセス、事例紹介

<第2部> 14:30～16:40

問題の定義、課題の抽出、解決策の立案に関する講義  
課題の抽出・解決策の立案に関するワーク、事例紹介  
令和元年度の政策評価における自己評価

## 5 対象者

- ・ 施策マネジメントに携わる管理職層（局長級、部長級、課長級）
- ・ 政策評価に携わる監督職層（課長代理級）等

# 政策評価講習会の結果概要（2 / 2）

## 受講者数

第1回 令和2年2月4日（火曜日） 46人（第1部 46人、第2部 24人）

第2回 令和2年2月7日（金曜日） 26人（第1部 26人、第2部 13人）

<参考>計72人（職級別内訳：局長級4人、部長級13人、課長級15人、課長代理級以下40人）

## 受講者からの主な意見

### ○政策評価講習会について

- ・政策立案段階に悩む人も多いので、その点に重点化した形でシリーズ化も検討してもらおうと良い（局長級）
- ・課題の掘り下げ方法（事例）が具体的で分かりやすかった（部長級）
- ・政策評価の担当だけでなく、事業所管部署の職員にも、こうしたマインドが浸透することを期待（課長級）
- ・外部のコンサルの方の話を伺う機会は貴重で、勉強になった（課長代理級以下）

### ○「新たな都政改革」を踏まえた政策評価について

- ・ **何のためにその事業をやるのか、やっているのかを職員によく分からせる事が重要**（局長級）
- ・ **全ての施策を一律に行うのではなく、具体的な指標の取り方など柔軟に対応していくべき**（部長級）
- ・政策評価の結果が、**自分の評価、自局の評価と捉えられ、前向きな制度になっていない**。これらを解決するようなものを期待（部長級）
- ・作業を各局に指示する前に、**総務局（事務局）として、何を目標にしていくのかを明確にしていきたい**（課長級）
- ・政策企画局の政策の強化、ビジョン等との連携、財務局の事業評価との棲み分け・連携など、**他の取組と重複している部分を結合するなど効率化を図って欲しい**（課長代理級）
- ・ **職員の負担軽減**にも配慮いただきたい（課長代理級）
- ・アジャイルに対応できるように**精緻な様式ではなく、ワンペーパーで良い**（主任・主事級）
- ・国からの横引きやハード、ソフトなど目標値の設定根拠が異なる**施策ごとに、柔軟に評価できる制度だと事業特性に応じた評価が可能になる**のではないかと思う（主任・主事級）